

脳神経科学統合プログラム

1. 創設年度：平成26年度

（平成26年度より開始された「革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト」他脳研究関係事業を、令和3年度に「脳とこころの研究推進プログラム」へ統合、その後、令和6年度より「脳神経科学統合プログラム」へ改組。今般の行政事業レビューにおいては、令和3年度以降の実施内容を対象とする。）

2. 令和7年度予算額：65.4億円

3. 事業概要

第2期健康・医療戦略（令和2年3月閣議決定）及び第3期健康・医療戦略（令和7年2月閣議決定）に基づき、マーマセット等のモデル動物の活用や国際連携等を通じた脳機能解明、様々な精神・神経疾患を対象にした疾患メカニズムの解明等のための研究開発、若手研究者を含めた脳科学分野の人材育成のための将来のイノベーション創出に向けた横断的かつ萌芽的な研究開発等を推進する。

なお、本事業は、文部科学省から国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）に対して補助金を交付し、AMEDにおける公募・審査を経て、研究開発課題を採択し実施されている。＜補助＞

4. 選定理由：イ（事業の規模が大きく、又は政策の優先度の高いもの）

本事業は、令和5年度にライフサイエンス委員会及び科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会が実施した中間評価で、着実に成果が創出されていることに加え、事業全体の統括機能と研究開発・推進機能を併せ持つ中核拠点を設置し、各研究課題が相互に連携する体制とする等の事業見直しの方向性も妥当であり、本事業の必要性・有効性・効率性等も踏まえ継続すべきと評価され、令和6年度から「脳神経科学統合プログラム」に改組のうえ、AMEDにおいて総数100件の研究開発課題を新規採択し、新たな体制にて本格的に事業を開始したところである。事業期間の折り返しを迎える現段階において、外部有識者の幅広い視点や専門性を活用して、今後の効果的な事業運営の在り方を検討することが有効であると考えられるため。

5. 想定される論点

- ・ 令和5年度中間評価等を踏まえ、事業の実施方法が効果的なものとなっているか。
- ・ 事業成果検証のために適切なアウトカム、アウトプットは設定されているか。

※ 成果指標（令和6年度）

（短期アウトカム）・研究成果の科学誌（インパクトファクター5以上）への論文掲載数（件）
（長期アウトカム）・シーズの他の統合プロジェクトや企業等への導出件数（件）

- ※ 第3期健康・医療戦略に基づく第3期医療分野研究開発推進計画（令和7年2月健康・医療戦略推進本部決定）において示されている主なアウトプット指標
- 権利譲渡契約・実施許諾契約・共同研究開発契約件数（シーズの企業導出件数）
 - 治験に至った件数
 - 優れたシーズの発展・継続支援件数
 - 論文数（Top1%論文、Top10%論文）

現状・課題

- **我が国は、超高齢化に伴い認知症が急激に増加。**社会的コスト予測は、**日本だけで2030年には約21兆円**と試算。
- 認知症は**日本発の治療薬（レカネマブ）**が2023年9月に国内で承認されたほか、アメリカでの迅速承認により初めてグローバル展開されるなど、**日本企業が世界をリード。**また、脳の機能解明は、健康・医療のみならず、AIなど**幅広い分野にイノベーションを起こす原動力としての期待大。**
- これまでの脳科学研究により、基礎研究・基盤整備は確実に進展。「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2024」等に基づき、**基礎と臨床、アカデミアと産業界の連携の強化**により、日本の強みである**革新技術・研究基盤の成果をさらに発展させ、脳のメカニズム解明等を進めるとともに、数理モデルの研究基盤（デジタル脳）を整備し、認知症等の脳神経疾患・精神疾患の画期的な診断・治療・創薬等シーズの研究開発を推進。**

事業内容

事業実施期間

令和3年度～令和11年度

✓ 研究期間：6年間

✓ 支援対象機関：大学、研究法人 等

脳神経科学統合プログラム

研究・実用化支援班

相互連携

個別重点研究課題

基礎・臨床の
双方向の連携

中核拠点

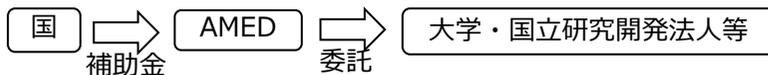
産学共創・国際連携

- 知財戦略の策定などの実用化支援
- 倫理課題への対応

- **統括機能と研究開発・推進機能を併せ持ち、他の機関とも連携して基礎研究の成果を臨床応用につなげる**

- **総括チーム**
 - ・事業推進に関する支援
 - ・基礎と臨床、産学、国際連携の推進
 - ・研究成果の取りまとめ・発信、人材育成
- **研究チーム**
 - ・個別重点課題と連携しながら研究を実施

【事業スキーム】



- **若手育成や異分野融合を重視し、基礎の研究成果を脳神経疾患・精神疾患の診断・治療等につなげるとともに数理・情報科学等を活用した研究を推進。**
- 「個別重点研究課題」の5つの研究領域は、「**中核拠点**」、「**研究・実用化支援班**」、**及び各研究領域間で相互に連携し、相乗効果を発揮。**

領域① 革新的技術・研究基盤の整備・開発・高度化

- ・ 革新脳や国際脳等で整備したデータベース、疾患モデル動物を含む動物資源等の研究基盤の整備・高度化を実施する。また、多種・多階層・多次元データを創出・統合する革新的技術の開発を行う。

領域② ヒト高次脳機能のダイナミクス解明

- ・ モデル動物等も用い、分子・細胞・神経回路等の各階層、また各階層を結びつけることで、高次脳機能を発揮するダイナミクスの根本的解明につなげる。

領域③ 神経疾患・精神疾患に関するヒト病態メカニズム解明

- ・ 神経疾患・精神疾患の克服の基盤となる疾患の病態機序を分子・細胞・神経回路の各階層で解明し、各階層で解明された知見をつなぐことで、病態メカニズムの根本的解明につなげる。さらに、疾患の責任回路や責任分子ネットワークなども解明する。

領域④ デジタル空間上で再現する脳モデル開発・研究基盤（デジタル脳）の構築

- ・ 既存データと本事業で得られる成果を統合し、ヒト脳の数理モデルや病態モデルの開発を行う。これらをデジタル空間上に再現し、研究基盤「デジタル脳」を構築。また、モデルの精度向上のため、ウェット実験での検証等も実施する。

領域⑤ 神経疾患・精神疾患の治療等のシーズ開発

- ・ 脳の機能解明に基づく疾患の診断・治療シーズ開発を実施。疾患の原因分子の同定・解析、病態メカニズムや数理モデルに基づく診断・治療シーズ開発や、医療機器を活用した治療シーズ開発などを実施する。

脳神経科学統合プログラム 補足説明資料

令和7年度行政事業レビュー外部有識者会合

令和7年5月16日

研究振興局ライフサイエンス課

「脳神経科学統合プログラム」の位置付け（1）

◆第3期「健康・医療戦略」（令和7年2月18日閣議決定）

IV 具体的施策

4. 1 世界最高水準の医療の提供に資する医療分野の研究開発の推進

(4) 8つの統合プロジェクト

⑥ シーズ開発・基礎研究プロジェクト

アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新規モダリティの創出に向けた画期的なシーズの創出・育成等の基礎的研究を推進するとともに、先進国や政策上重要な国々等との国際共同研究を強化する。また、**基礎と臨床、アカデミアと産業界の連携を強化して、神経疾患・精神疾患の画期的な診断・治療・創薬等シーズ開発に向けた基礎研究を推進する。**その上で、異分野融合、他事業連携を促進し、上記①～⑤のプロジェクトに将来的につながり得るような、モダリティの多様化に対応する革新的シーズを創出・育成する。

◆第3期「医療分野研究開発推進計画」（令和7年2月18日健康・医療戦略推進本部決定）

3. 集中的かつ計画的に講ずべき医療分野研究開発等施策

(3) 8つの統合プロジェクト

⑥ シーズ開発・基礎研究プロジェクト（健、◎文、厚）

(略)

特に、以下のようなテーマに重点的に取り組む。

- ・ 社会に貢献する脳科学を目指し、**ヒトの高次脳機能の解明のための研究開発・基盤整備を行うとともに、ヒト脳の数理モデルや病態モデルの開発、デジタル空間上での再現等に向けた研究に取り組むことにより、臨床等での社会実装の実現を目指した神経疾患・精神疾患の診断・治療・創薬につながる基礎研究を推進**

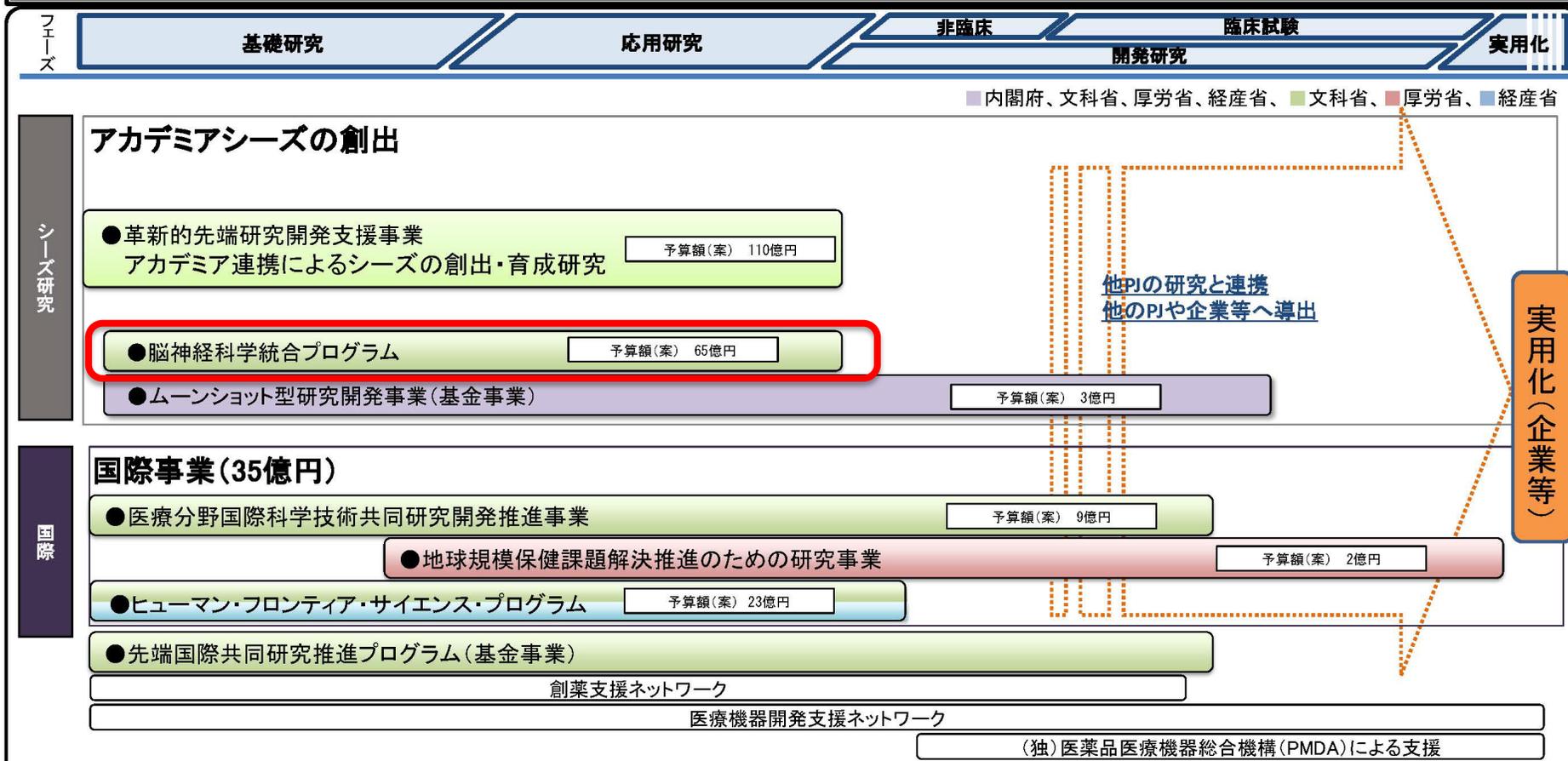
「脳神経科学統合プログラム」の位置付け（2）

「健康・医療戦略」（令和7年2月18日閣議決定）に即して策定された「医療分野研究開発推進計画」（令和7年2月18日健康・医療戦略推進本部決定）において実施する統合プロジェクトの一つである「⑥シーズ開発・基礎プロジェクト」の中に当該事業が位置づけられている。

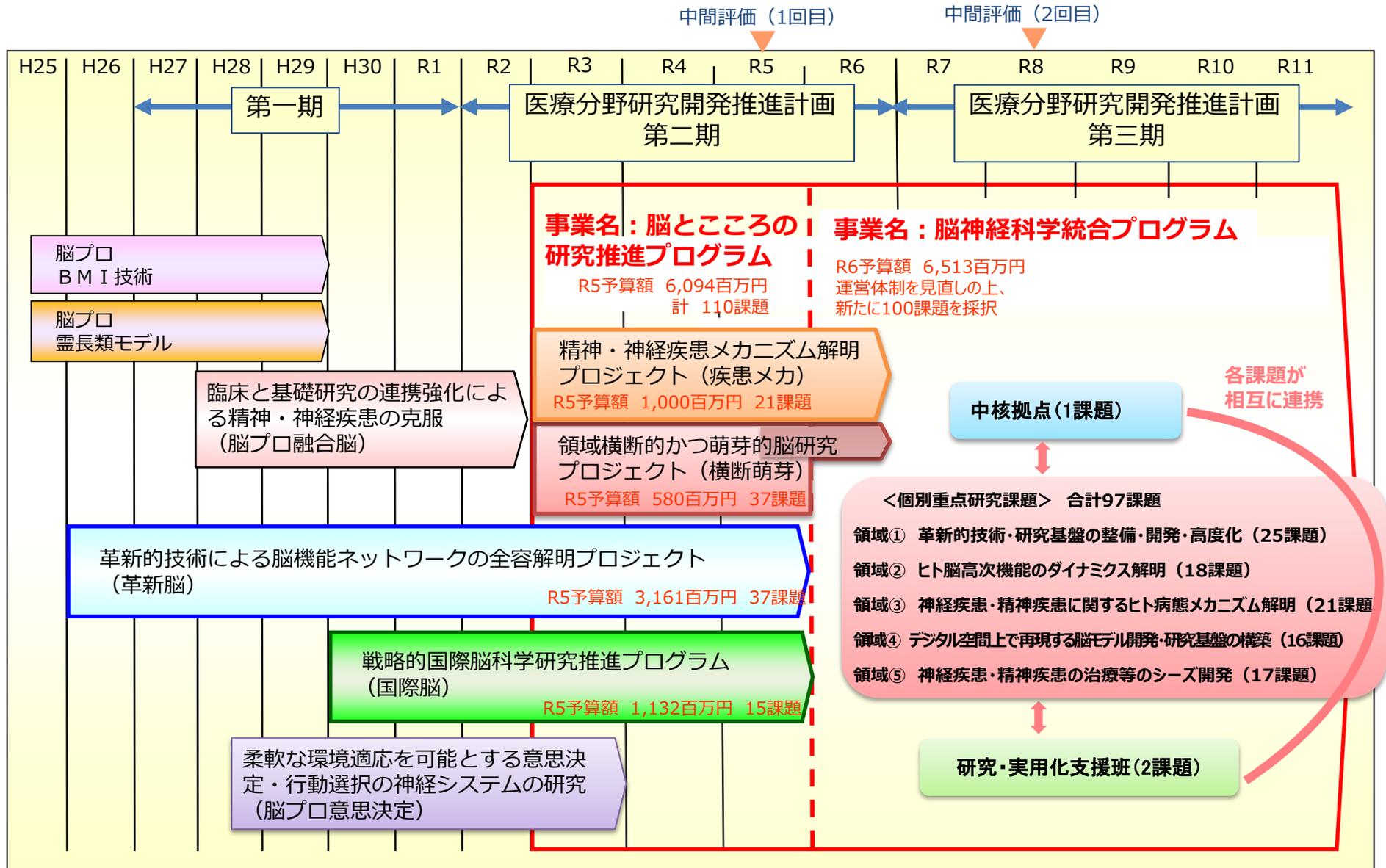
6. シーズ開発・基礎研究プロジェクト

日本医療研究開発機構対象経費
令和7年度予算額(案) 214億円

アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新規モダリティの創出に向けた画期的なシーズの創出・育成等の基礎的研究を推進するとともに、先進国や政策上重要な国々等との国際共同研究を強化する。



「脳科学研究」の全体像



「脳とこころの研究推進プログラム」（変更後名称「脳神経科学統合プログラム」）

第1回中間評価（1）

（令和5年8月科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会 決定）

経緯

- 令和5年6月、科学技術・学術審議会ライフサイエンス委員会の下に設置された脳科学作業部会において、『**今後の脳科学研究の方向性について 中間とりまとめ**』を取りまとめ、今後の方向性や、重点研究課題例及び研究推進体制が示された。
- 令和5年8月、ライフサイエンス委員会及び科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会による**中間評価（1回目）**を実施。（中間評価（2回目）を令和8年度、事後評価を令和12年度に実施予定。）
- 着実に成果を創出していること、また、運用の見直しを踏まえると、本事業の必要性、有効性、効率性は十分にあり、**継続すべきと評価**された。
- 中間とりまとめや中間評価を踏まえ、令和6年度当初より「脳神経科学統合プログラム」に改組。

（参考）中間とりまとめ（抜粋）

- これまでのプログラムでは神経回路レベルに着目した脳の機能解明を中心に研究が実施されてきたが、近年、神経回路研究を生かした**疾患の診断・治療等に関する研究の進展もみられる。**
- 今後は、これまでの研究を更に発展させ、多種・多次元・多階層データを創出・統合し、**効果的に活用するための研究環境を新たに整備し、神経疾患・精神疾患の診断・治療等へ貢献するための研究を推進する。**

「脳とこころの研究推進プログラム」(変更後名称「脳神経科学統合プログラム」)

第1回中間評価(2)

(令和5年8月科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会 決定)

概要

本事業については、脳機能解明や病態メカニズムの解明や、研究基盤の整備などに関して着実に成果を創出している。

また、中間とりまとめを踏まえ、見直し後のプログラムにおいては、以下のように運用を見直すこととしている。

- 事業全体の統括機能と研究開発・推進機能を併せもつ中核拠点を設置
- 個別重点研究課題においては、これまでの成果を発展させ、研究基盤・革新的技術の高度化や開発、ヒト脳高次機能のダイナミクス解明や病態メカニズム解明、これらの成果を活用した数理科学的な研究手法による新たな研究基盤の構築を進め、神経疾患・精神疾患の診断・治療等のシーズ開発を推進
- 事業の成果をいち早く実用化に結びつけるための伴走支援を行う研究・実用化支援班を設置
- 中核拠点、個別重点研究課題、研究・実用化支援班が相互に連携

見直しにより、様々な研究グループが一体的にプロジェクトを進めることで効率的に研究が推進できるものと期待できる。事業の必要性、有効性、効率性は十分にあり、継続すべきである。

中間評価を踏まえた見直し後の事業実施体制・重要研究課題

- 基礎と臨床、アカデミアと産業界との連携を推進し、これまでの研究基盤・開発技術等を最大限活用・発展
- 神経疾患・精神疾患の診断・治療・創薬等シーズの研究開発を推進



PS：高橋良輔
 (京都大学学術研究展開センター
 生命・医薬系部門 部門長)

中核拠点

➢ **統括機能と研究開発・推進機能を併せ持ち、他の機関とも連携して基礎研究の成果を臨床応用につなげる**

- ◆ 代表機関：理化学研究所脳神経科学研究センター
- ◆ 分担機関：東大、京大、QST、NCNP、NIPS、ATR、OIST



統括チーム

- 研究プロジェクトの統括・連携促進と運営推進事務
- ヒト脳データベース運用推進および国際対応に関する包括的な事務支援
- 倫理支援

研究体制

- 臨床トランスレーション
- 神経疾患メカニズム
- ヒト脳機能ダイナミクスと精神疾患
- デジタル脳開発
- 革新的技術研究基盤



個別重点研究課題と連携しながら研究を実施



個別重点研究課題

➢ **若手育成や異分野融合を重視し、基礎の研究成果を神経疾患・精神疾患の診断・治療等につなげるとともに数理・情報科学等を活用した研究を推進。**

- ① 革新的技術・研究基盤の整備・開発・高度化
- ② ヒト高次脳機能のダイナミクス解明
- ③ 神経疾患・精神疾患に関するヒト病態メカニズム解明
- ④ デジタル空間上で再現する脳モデル開発・研究基盤（デジタル脳）の構築
- ⑤ 神経疾患・精神疾患の治療等のシーズ開発

中核拠点と連携しながら研究を推進

PO (50音順) :

浅井潔

(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授)

神庭重信

(九州大学 名誉教授)

大塚稔久

(山梨大学大学院総合研究部 教授)

塚原克平

(イーザイ株式会社 筑波研究所 研究所長)

狩野方伸

(帝京大学先端総合研究機構 特任教授)

松田哲也

(玉川大学脳科学研究所 教授)

PO：大隅典子（東北大学大学院医学系研究科 教授）

相互に連携

研究・実用化支援班

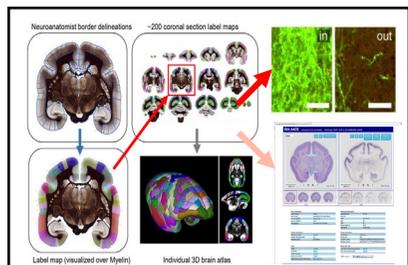
- 知財戦略の策定などの実用化支援
- 倫理課題への対応

PO：萩原一平（一般社団法人応用脳科学コンソーシアム理事・事務局長
 株式会社NTTデータ経営研究所 教授）

令和3年度以降の本事業における主な研究成果の例

ヒト脳の解明につながるマーモセット研究のフロンティア

- ヒト脳の高次機能の解明・疾患研究を飛躍的に発展させる、**細胞から全脳レベルをつなぐマーモセット脳の設計図を開発【R3年】**
- 世界初の疾患モデルマーモセット**（アルツハイマー病、パーキンソン病、発達障害など）を作出【R3年】



脳の設計図

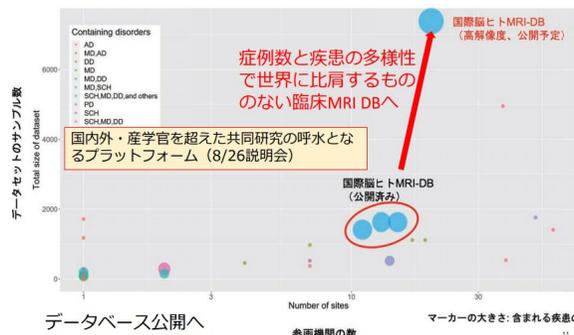


疾患モデルマーモセット

ヒト特有の高次機能を生み出す神経回路の解明につながる新たな疾患モデルとして、**創薬研究のブレークスルーを起こす**

疾患の治療等シーズを生み出すヒト脳の臨床研究基盤の整備

- 世界に比肩するものない臨床MRIデータベース整備**（数千例の規模、幅広い疾患の種類など）【R3年】
- 疾患研究の基盤となる**ブレインバンクネットワーク（死後脳）**の整備【R3年～】



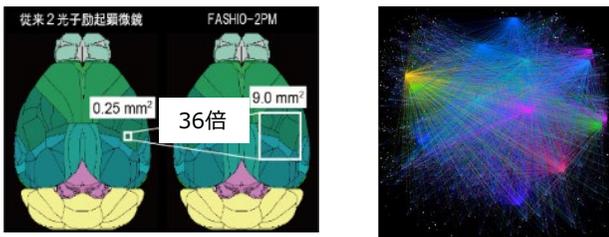
データベース公開へ
データベースの比較（出典）第4回脳科学作業部会資料



疾患の治療・創薬シーズを生み出す**次世代基盤**として期待

世界最高レベルの計測技術の開発

- 世界初となる細胞レベルでのネットワーク解析が可能となる、**世界最大・最速の広視野2光子顕微鏡開発【R3年】**

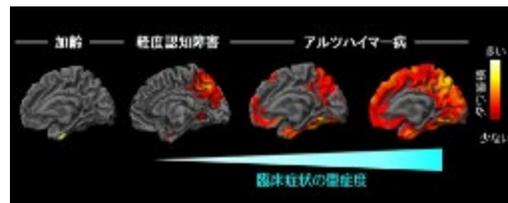


本技術で観察できる視野及びネットワーク

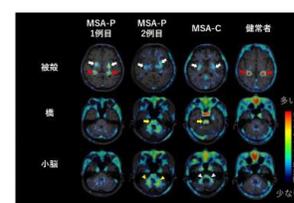
細胞、回路、行動をつなぐ**新たな計測技術**の開拓

臨床応用への結びついた創薬シーズ

- 神経変性疾患の原因となる**異常タンパク質（タウやαシヌクレイン）**を生体脳で**画像化することに成功し、タウPET薬剤に関する臨床試験を開始【R6年】**



健常からアルツハイマー病に至るタウの広がりや重症度との関連



αシヌクレイン蓄積画像の比較

疾患症状を把握する**革新的な診断・評価システム**の開発

令和3年度以降の本事業の成果指標と状況について

○短期アウトカム:研究成果の科学誌(インパクトファクター5以上)への論文掲載数(件)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
成果実績	243.3	214.9	154.5	集計中
目標値	27.5	32.1	32.7	34.7
達成度	884.7%	669.5%	472.5%	—

→ 短期アウトカムについては目標値を大きく達成し、**基礎研究段階では確実に成果を創出**。

○長期アウトカム:シーズの他の統合プロジェクトや企業等への導出件数(件)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
成果実績	2	0	0	1
目標値	0.7	0.8	0.8	0.9
達成度	285.7%	0%	0%	111.1%

→ 長期アウトカムについては、令和3年度及び令和6年度のみ目標値を達成。
なお、支援終了課題を算出対象しており、終了課題が0件である令和4年度及び令和5年度は導出件数が0件となっている。

○参考:臨床段階や知財化に進んだ件数(件)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
臨床段階	1	5	1	2
知財化	16	10	0	0

(注) 目標値は、「医療分野研究開発推進計画」(令和3年2006日一部変更 健康・医療戦略推進本部決定)における成果目標(KPI)(令和6年度までの累積値)を本事業予算額に按分し単年度ごとに算出。

第3期健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画（令和7～11年度） におけるアウトプット指標

第3期健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画（令和7～11年度）において
戦略全般のアウトプット指標として以下のとおり示されている。

<研究開発一般>

- 権利譲渡契約・実施許諾契約・共同研究開発契約件数（シーズの企業導出件数）（130件／年）
（2025～2029年度累計 650件）
- 治験に至った件数※（60件／年）（2025～2029年度累計 300件）
※AMED 支援による研究成果を活用して治験へ移行した課題、又はAMED 支援により治験を実施した課題。
- 優れたシーズの発展・継続支援件数※（120件／年）（2025～2029年度累計 600件）
※AMED 内の事業間の連続的支援数。同一事業内での課題の受け渡しも含む。
- 医療研究分野の論文数（Top1%論文）（120件／年）（2025～2029年累計 600件）
- 医療研究分野の論文数（Top10%論文）（850件／年）（2025～2029年累計 4,250件）
- 医療研究分野の全論文数

日本医療研究開発機構 中長期目標

国立研究開発法人日本医療研究開発機構に関する評価軸等について（第3期：R7-11年度）

中長期目標（第3期）	評価軸	評価指標	モニタリング指標
<p>Ⅲ. 研究開発の成果の最大化その他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>（1）基礎から実用化へ一貫してつなぐプロジェクトの実施</p> <p>⑥ シーズ開発・基礎研究プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● アカデミアの組織・分野の枠を超えた研究体制を構築し、新規モデル性の創出に向けた画期的なシーズの創出・育成等の基礎的研究を行ったか。 ● 先進国や政策上重要な国々等との国際共同研究を強化したか。 ● 基礎と臨床、アカデミアと産業界の連携を強化して、神経疾患・精神疾患の画期的な診断・治療・創薬等シーズ開発に向けた基礎研究を推進したか。 ● 異分野融合、他事業連携を促進し、上記①～⑤のプロジェクトに将来的に繋がり得るような、モデル性の多様化に対応する革新的シーズを創出・育成したか。 ● 掲げられたテーマに重点的に取り組み、成果を創出したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 権利譲渡契約・実施許諾契約・共同研究開発契約件数（シーズの企業導出数） ● 治験に至った件数 ● 優れたシーズの発展・継続支援件数 ● 論文数（Top1%論文、Top10%論文） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全統合プロジェクト共通のモニタリング指標

「脳神経科学統合プログラム」ロジックモデル (R7年度予算額:6,536百万円)

現状・課題

- 我が国では、平均寿命が年々伸び世界最高水準に達する中、疾患等の健康上の理由による健康寿命と平均寿命の差が課題。
- 特に精神・神経疾患では、超高齢化社会に伴い認知症が急激に増加。社会的コスト予測では、日本だけで2030年には約21兆円と試算。
- 認知症等の精神・神経疾患に対する予防・治療に向けて、脳機能や疾患メカニズムの解明、創薬シーズ等の研究開発が求められている。

本事業の目的

- 第3期健康・医療戦略(令和7年2月18日閣議決定)、第3期医療分野研究開発推進計画(令和7年2月18日健康・医療戦略推進本部決定)に基づき、「シーズ開発・基盤研究プロジェクト」のうち「脳神経科学統合プログラム」として脳科学研究を推進する。
- 具体的には、マーマセット等のモデル動物の活用や国際連携等を通じた脳機能解明、様々な精神・神経疾患を対象にした疾患メカニズムの解明等のための研究開発、若手研究者を含めた脳科学分野の人材育成のための将来のイノベーション創出に向けた横断的かつ萌芽的な研究開発等を推進する。

インプット (資源)

【脳神経科学統合プログラム】
R7年度予算額:6,536百万円
○中核拠点:1箇所(理研CBS)
○個別重点研究課題:127件(予定)
○研究・実用化支援班:2件

(関連施策)
シーズ開発・基盤研究プロジェクト

アクティビティ (活動内容)

○医療分野の研究開発への応用を目指し、脳機能の解明や、様々な疾患を対象にした疾患メカニズムの解明等のための基礎的な研究開発を行う。
○これらの研究開発成果を臨床研究開発や他の統合プロジェクトにおける研究開発に結びつけるとともに、臨床上の課題を取り込んだ研究開発を行うことにより、基礎から実用化まで一貫した循環型の研究を支える基盤を構築する。

アウトプット (活動目標)

○脳機能の解明や、様々な疾患を対象にした疾患メカニズムの解明等のための基礎的な研究開発課題を支援。
(本事業における研究課題の支援件数)

KPI
①

初期アウトカム (成果目標)

○国際的に認められるインパクトのある成果の創出。
(科学誌(インパクトファクター5以上)への論文掲載数)

KPI
②

長期アウトカム (成果目標)

○臨床研究開発や他の統合プロジェクト、企業等における研究開発に移行。
(シーズの他の統合プロジェクトや企業等への導出件数)

KPI
③

測定指標と目標値

KPI
① 本事業における研究課題の支援件数 (R6年度:126件)

KPI
② 研究成果の科学誌(インパクトファクター5以上)への論文掲載数(R6年度:34.7件)

- ・「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)に基づく「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月6日一部変更 健康・医療戦略推進本部決定)における成果目標(KPI)(令和6年度までの累積値)を該当事業予算額に応じて按分し単年度ごとに算出。
- ・成果実績は、n事業で同じ論文を公表している場合、それぞれ1/n件でカウント。

KPI
③ シーズの他の統合プロジェクトや企業等への導出件数(R6年度:0.9件)

- ・「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)に基づく「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月6日一部変更 健康・医療戦略推進本部決定)における成果目標(KPI)(令和6年度までの累積値)を該当事業予算額に応じて按分し単年度ごとに算出。

2023

脳神経科学統合プログラム

基本情報

組織情報	府省庁	文部科学省				
	事業所管課室	文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課				
	作成責任者	釜井宏行				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	006838	事業開始年度	2014	事業終了（予定）年度	2029
	事業年度	2024		事業区分	前年度事業	
政策・施策	政策所管	政策			施策	政策体系・評価書URL
	文部科学省	9未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			9-3健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応	https://www.mext.go.jp/content/20240527-mxt_kanseisk01-000036110_02.pdf
関連事業	--			主要経費	科学技術振興費	
概要・目的	事業の目的	平均寿命は年々延びて男女ともに世界最高水準に達しており、1994年に14%、2007年に21%を超えた高齢化率（65歳以上人口割合）は、2018年には28.1%に達するなどますます高齢化が進んでいる。総人口が減少する中で高齢化率は今後も上昇が見込まれるとともに、現役世代の減少は加速し、2040年には現役世代1.5人で65歳以上の者1人を支えることになると予想される。加えて、健康寿命も順調に延びており、2016年には男性72.14歳、女性74.79歳となっている。健康寿命と平均寿命との差、すなわち疾病などの健康上の理由により日常生活に制限のある不健康期間は、2010年から2016年の間に男女ともに約0.3年が短縮されたものの、依然として10年近くの期間を占めており、更なる短縮に向けた取組を実施することで、健康長寿社会の形成を目指す。				
	現状・課題	平均寿命が延びている中で、健康寿命をさらに伸ばしていくためには、疾患への対応が不可欠である。加えて、内閣官房 認知症施策推進関係者会議（第二回）にて、2030年には65歳以上のうち523万人、約7人に1人は認知症に罹患するという推計が発表された。社会的コストも今後さらに増加することが見込まれ、内閣府「2030年展望と改革タスクフォース報告書」では2030年に約21兆円になると予測されている。そのため、認知症等の精神・神経疾患に対する予防・治療や、そのための研究開発は重要な課題であり、認知症等の精神・神経疾患の克服に向けて、脳の神経回路レベルでの動作原理等の解明や病態解明、バイオマーカー研究等が求められている。				
	事業の概要	第2期健康・医療戦略（令和3年4月9日一部変更 閣議決定）、第2期医療分野研究開発推進計画（令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定）に基づき、「疾患基礎研究プロジェクト」のうち「脳とこころの研究推進プログラム」（令和6年度より「脳神経科学統合プログラム」へ改組）として脳科学研究を推進する。具体的には、マウモセット等のモデル動物の活用や国際連携等を通じた脳機能解明、様々な精神・神経疾患を対象にした疾患メカニズムの解明等のための研究開発、若手研究者を含めた脳科学分野の人材育成のための将来のイノベーション創出に向けた横断的かつ萌芽的な研究開発等を推進する。				
	事業概要URL	https://www.amed.go.jp/program/list/15/01/002.html				

根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分
	健康・医療戦略推進法	平成二十六年法律第四十八号	--	--	--
	国立研究開発法人日本医療研究開発機構法	平成二十六年法律第四十九号	--	--	--
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL			
	健康・医療戦略（第1期：平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部変更、第2期：令和2年3月27日閣議決定）、医療分野研究開発推進計画（第1期：平成26年7月健康・医療戦略推進本部決定、平成29年2月一部変更、第2期：令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定）、「統合イノベーション戦略2023」（令和5年6月9日閣議決定）、「バイオ戦略（基盤的施策）」（令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定）	--			
実施方法	補助				
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL	
	国立研究開発法人日本医療研究開発機構が実施する本事業について、当該経費の補助を行うもの	定額	--	--	
備考	--				

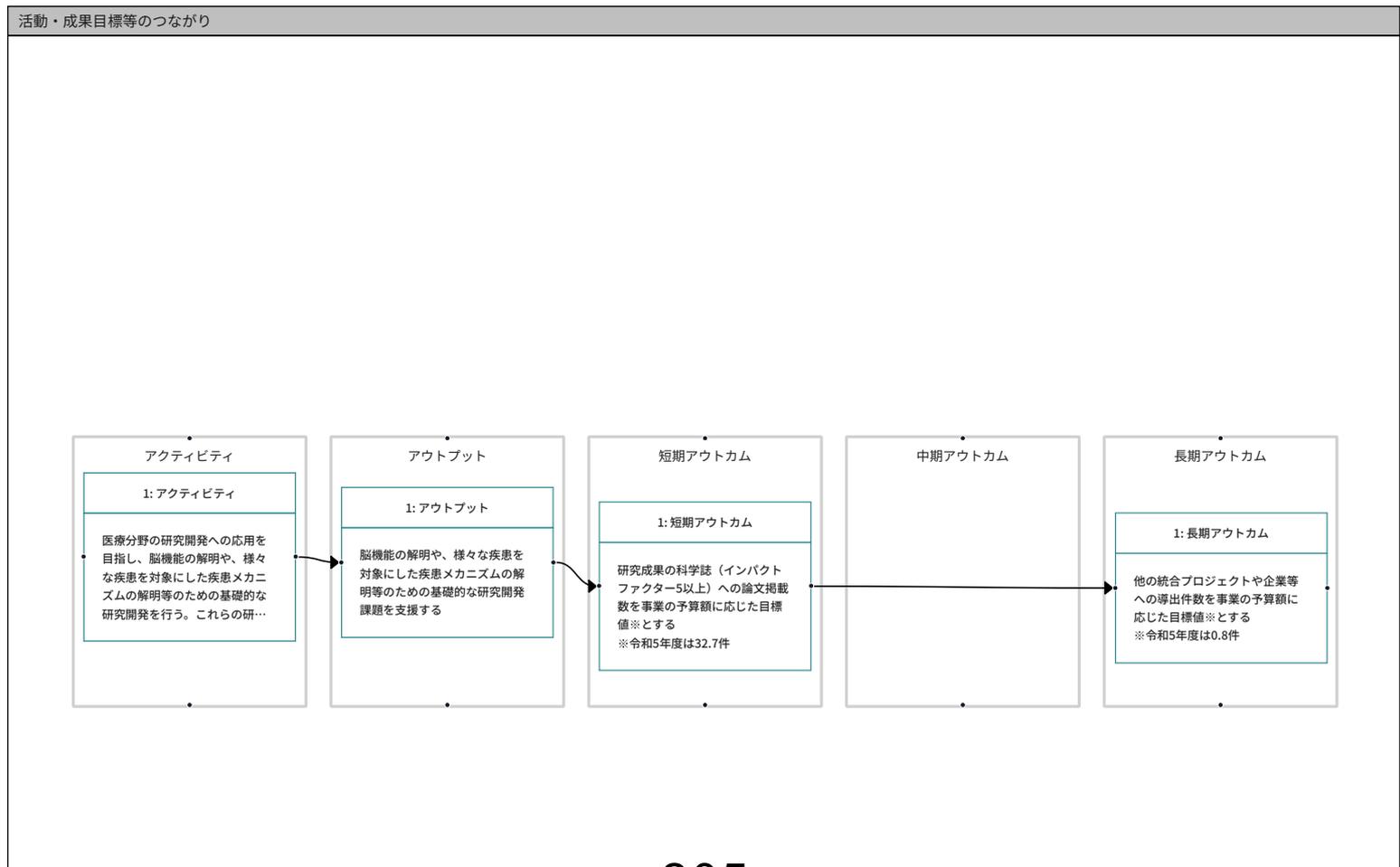
予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)		2023		2024		2025	
要求額				9,251,000		7,460,375	
当初予算		4,621,641		6,513,675		--	
補正予算		1,472,497		--		--	
前年度から繰越し		3,657,586		1,472,497		--	
予備費等		--		--		--	
計		9,751,724		7,986,172		--	
執行額		9,751,724		--		--	
執行率		100%		--		--	

予算内訳表 (単位：千円)		会計		勘定		要望額		備考		
一般会計	一般会計			--		2,026,700		--		
	予算種別/歳出予算項目					備考		予算額		翌年度要求額
	当初予算					--		6,513,675		7,460,375
	一般会計 / 文部科学省 / 文部科学本省 / 研究開発推進費 / 医療研究開発推進事業費補助金									
前年度から繰越し				--				1,472,497		--
--										

主な増減理由	重要政策推進枠 2,027百万円	その他特記事項	--
--------	------------------	---------	----

効果発現経路



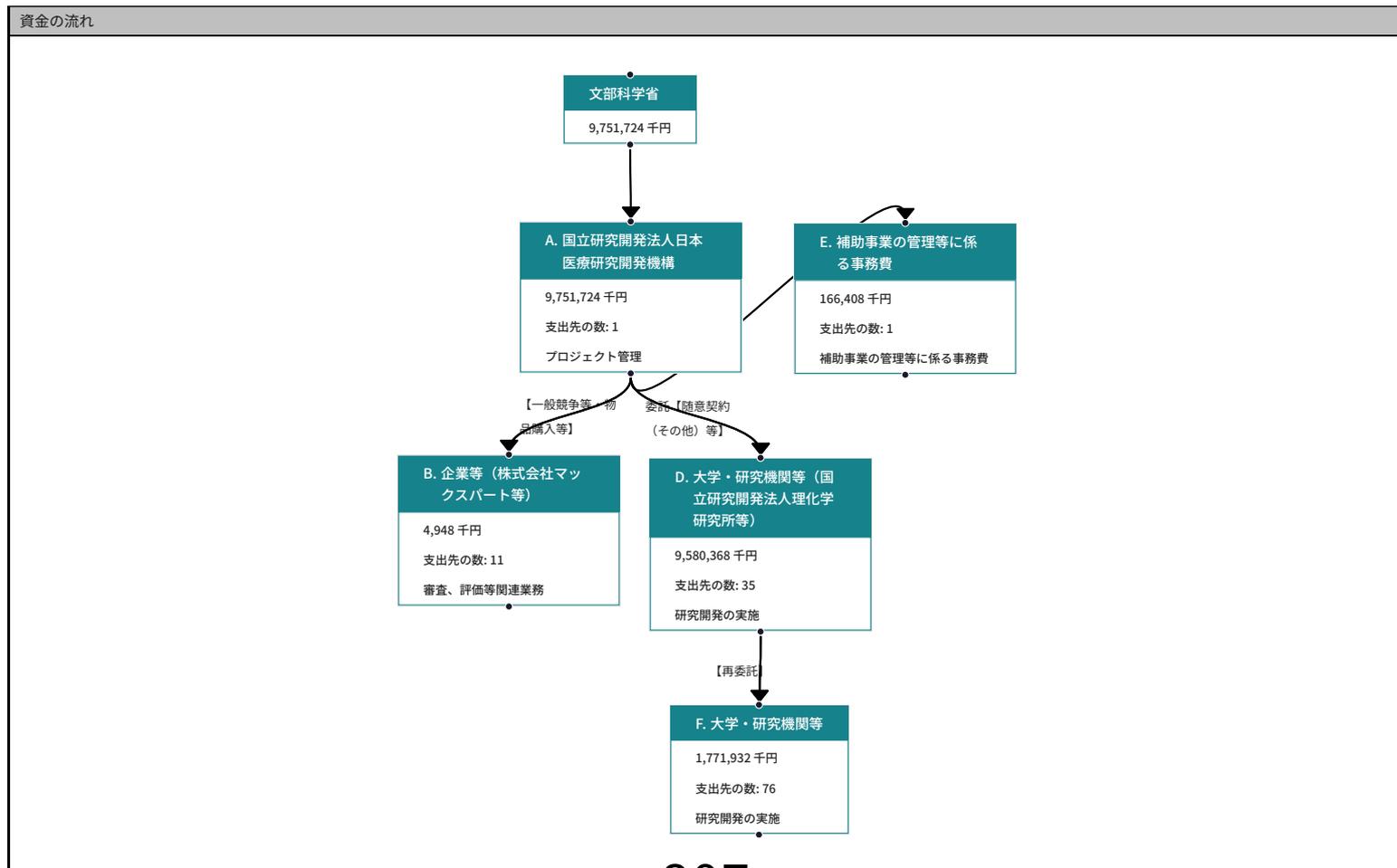
アクティビティからの発現経路 1-1-1-1

アクティビティ	医療分野の研究開発への応用を目指し、脳機能の解明や、様々な疾患を対象にした疾患メカニズムの解明等のための基礎的な研究開発を行う。これらの研究開発成果を臨床研究開発や他の統合プロジェクトにおける研究開発に結び付けるとともに、臨床上の課題を取り込んだ研究開発を行うことにより、基礎から実用化まで一貫した循環型の研究を支える基盤を構築する。				
アウトプット	活動目標	脳機能の解明や、様々な疾患を対象にした疾患メカニズムの解明等のための基礎的な研究開発課題を支援する	活動指標	本事業における研究課題の支援件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	当初見込み/目標値(件)	110	110	110	126
	活動実績/成果実績(件)	110	110	110	126
↓ 後続アウトカムへのつながり	本事業は、「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)において疾患基礎研究プロジェクトに位置付けられ、基礎研究・応用研究を行うとされている。研究開発成果を臨床研究開発や他の統合プロジェクトや企業等へ導出するために、国際的に認められるインパクトのある成果を創出する必要がある。このため、本プログラムを通じて創出された、インパクトファクター5以上の科学誌に論文掲載される研究成果を指標として設定する。				
短期アウトカム	成果目標	研究成果の科学誌(インパクトファクター5以上)への論文掲載数を事業の予算額に応じた目標値※とする ※令和5年度は32.7件	成果指標	研究成果の科学誌(インパクトファクター5以上)への論文掲載数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)に基づく「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月6日一部変更 健康・医療戦略推進本部決定)における成果目標(KPI)(令和6年度までの累積値)を該当事業予算額に応じて按分し単年度ごとに算出。 ※上表年度の集計期間は、データベースからの算出のため1月～12月となっている。 ※成果実績は、n事業で同じ論文を発表している場合、それぞれ1/n件でカウント。 ※令和5年度成果実績は、集計中のため未記載。	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2021年度	2022年度	2023年度	目標年度 2024年度
	当初見込み/目標値(件)	27.5	32.1	32.7	34.7
	活動実績/成果実績(件)	243.3	214.9	--	--
	達成率(%)	884.7	669.5	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	本事業で創出した国際的に認められるインパクトのある成果(科学誌(インパクトファクター5以上)へ論文掲載したもの)を、臨床研究開発や他の統合プロジェクトや企業等における研究開発に結び付けることで、医療分野の研究開発への応用を目指し、基礎から実用化まで一貫した循環型の研究を支える基盤を構築する。				
長期アウトカム	成果目標	他の統合プロジェクトや企業等への導出件数を事業の予算額に応じた目標値※とする ※令和5年度は0.8件	成果指標	シーズの他の統合プロジェクトや企業等への導出件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績/目標/見込みの根拠として用いた統計・データ名(出典)	「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)に基づく「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月6日一部変更 健康・医療戦略推進本部決定)における成果目標(KPI)(令和6年度までの累積値)を該当事業予算額に応じて按分し単年度ごとに算出。 ※令和5年度成果実績は、調査中のため未記載。	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2021年度	2022年度	2023年度	最終目標年度 2024年度
	当初見込み/目標値(件)	0.7	0.8	0.8	0.9
	活動実績/成果実績(件)	2	0	0	--
	達成率(%)	285.7	0	0	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	健康・医療戦略(令和2年3月27日閣議決定、令和3年4月9日一部変更)、医療分野研究開発推進計画(令和3年4月6日健康・医療戦略推進本部決定)			
	URL	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/senryaku/index.html			
	該当箇所	--			

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	・本事業は短期アウトカムにおいて目標を達成しており、今後長期アウトカムにおいても成果の創出が見込め、医療分野の研究開発の推進に寄与していると考えられる。 ・国立研究開発法人日本医療研究開発機構において、研究開発課題評価に関する規則を踏まえ課題評価委員会が設置され、研究開発課題評価等が実施されている。当該委員会において事業の進捗状況管理や効果的・効率的な運営方法等について、評価を受けることで、合理的な事業運営が行われている。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	引き続き政府の全体方針に基づき効果的・有効な事業を推進し、予算を効果的かつ効率的に執行していく。		
外部有識者による点検	点検対象	書面点検	最終実施年度	2024
	対象の理由	5年間外部有識者点検を実施していない事業		
	所見	事業目的は明確であり、事業内容は事業目的の達成手段として適切なものとなっている。 成果指標等について、事業の進捗が把握できるような指標の設定など一層の工夫・改善が必要と考えるが、成果目標値の設定については、妥当なものと考えられる。 一定の成果はあがっており、概ね適正に事業は執行されていると判断出来るが、ステージが先(臨床)に進んでいないケースも多く、成果が十分とは認められないので更なる研究の進展を望む。		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	事業内容の一部改善	詳細	外部有識者の指摘を踏まえ、事業の進捗が把握できるような成果指標の設定など、見直しができないか検討されたい。
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況	改善点・反映状況	年度内に改善を検討		
	反映額	会計	勘定	反映額(千円)
	詳細	本事業の成果指標は第2期健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画に基づき設定している。今後同戦略の見直しを踏まえ、より適切に事業の進捗が把握できる成果指標の設定を検討する。 また、将来的な臨床での実現を目指し、脳神経・精神疾患の診断・治療・創薬につながる研究開発を一層推進する。		
公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			

支出先



支出上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割			
	A 国立研究開発法人日本医療研究開発機構		9,751,724	1	プロジェクト管理			
	支出先名		支出額	法人番号				
	国立研究開発法人日本医療研究開発機構		9,751,724	9010005023796				
	契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由		
	交付 補助金等交付		9,751,724	0	0	--		
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割			
	B 企業等(株式会社マックスパート等)		4,948	11	審査、評価等関連業務			
	支出先名		支出額	法人番号				
	株式会社マックスパート		2,620	8010001069555				
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由			
領域横断的かつ萌芽的脳研究プロジェクト 進捗報告会 運営支援業務 随意契約(少額)		955	0	0	--			
精神・神経疾患メカニズム解明プロジェクト 進捗報告会 運営支援業務 随意契約(少額)		867	0	0	--			
【予算・執行組織・実施区分の振替】「革新脳及び早期ライフ領域 合同会議」会場借上130200-1005-00037 随意契約(少額)		796	0	0	--			
【会議費】8/29 精神・神経疾患領域/早期ライフ領域 連携推進ワークショップ 随意契約(少額)		2	0	0	--			
支出先名		支出額	法人番号					
特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター		945	2013405000693					
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由			

令和5年度「脳神経科学統合プログラム(中核拠点)」課題評価委員会運営支援業務 随意契約(少額)	617	0	0	--	
戦略的国際脳科学研究推進プログラム令和5年度進捗報告会 運営支援業務 随意契約(少額)	328	0	0	--	
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社アドスリー		787	6011201010574		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
「文部科学省と厚生労働省の連携における認知症研究者交流会」運営支援業務 随意契約(少額)		787	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
三井不動産ビルマネジメント株式会社		390	4010001129759		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
「文部科学省と厚生労働省の連携における認知症研究者交流会」開催にかかる会場借上 随意契約(少額)		389	0	0	--
「文部科学省と厚生労働省の連携における認知症研究者交流会」開催にかかる会場借上 随意契約(少額)		1	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
トライコーン株式会社		72	5011101040706		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
WEB用顧客関係管理CRMツールパッケージ提供業務【疾患基礎研究課】4月分 随意契約(少額)		8	0	0	--
WEB用顧客関係管理CRMツールパッケージ提供業務【疾患基礎研究課】5月分 随意契約(少額)		8	0	0	--

WEB用顧客関係管理CRMツールパッケージ提供業務【疾患基礎研究課】6月分 随意契約(少額)	8	0	0	--
WEB用顧客関係管理CRMツールパッケージ提供業務【疾患基礎研究課】7月分 随意契約(少額)	8	0	0	--
WEB用顧客関係管理CRMツールパッケージ提供業務【疾患基礎研究課】8月分 随意契約(少額)	8	0	0	--
WEB用顧客関係管理CRMツールパッケージ提供業務【疾患基礎研究課】9月分 随意契約(少額)	8	0	0	--
WEB用顧客関係管理CRMツールパッケージ提供業務【疾患基礎研究課】10月分 随意契約(少額)	8	0	0	--
WEB用顧客関係管理CRMツールパッケージ提供業務【疾患基礎研究課】11月分 随意契約(少額)	8	0	0	--
WEB用顧客関係管理CRMツールパッケージ提供業務【疾患基礎研究課】12月分 随意契約(少額)	8	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
オンキヨー株式会社	51	1122001034113		
契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
【年契】音声データ・テープ起こし(単価契約)2月分 疾患基礎研究課 一般競争契約(最低価格)	28	0	0	--
【年契】音声データ・テープ起こし(単価契約)1月分 疾患基礎研究課 一般競争契約(最低価格)	23	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
株式会社山本山	30	7010001059334		

契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
【会議費】2/23 認知症研究者交流会 随意契約(少額)	30	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
株式会社ビックカメラ	27	9013301010402		
契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
Web会議用マイクスピーカー 随意契約(少額)	27	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
横河レンタ・リース株式会社	17	8012401013423		
契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
タブレットレンタル 随意契約(少額)	17	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
板前弁当 湯島半之助	8	--		
契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
【会議費】9/27 令和5年度分科会/第1回PSPO会議 05 医開疾第1083号 随意契約(少額)	8	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
その他	1	--		
契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
その他 --	1	0	0	--
支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
D 大学・研究機関等(国立研究開発法人理化学研究所等)	9,580,368	35	研究開発の実施	
支出先名	支出額	法人番号		

国立研究開発法人理化学研究所	3,787,120	1030005007111		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
研究の実施 --	3,787,120	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
国立大学法人東京大学	1,585,550	5010005007398		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
研究の実施 --	1,585,550	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
大学共同利用機関法人自然科学研究機構	770,376	5012405001823		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
研究の実施 --	770,376	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
国立大学法人京都大学	476,336	3130005005532		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
研究の実施 --	476,336	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	420,095	6012705001563		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
研究の実施 --	420,095	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
学校法人順天堂	286,520	8010005002330		

契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
研究の実施 --	286,520	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
国立大学法人東海国立大学機構	256,796	3180005006071		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
研究の実施 --	256,796	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
学校法人藤田学園藤田医科大学	240,994	4180005007630		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
研究の実施 --	240,994	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構	194,848	8040005001619		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
研究の実施 --	194,848	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
公益財団法人実中研	162,478	9020005009695		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
研究の実施 --	162,478	0	0	--
支出先名	支出額	法人番号		
その他	1,399,255	--		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由

	研究の実施 --	1,399,255	0	0	--
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
E	補助事業の管理等に係る事務費	166,408	1	補助事業の管理等に係る事務費	
支出先名		支出額	法人番号		
国立研究開発法人日本医療研究開発機構		166,408	--		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
人件費 --		101,945	0	0	--
その他 --		27,811	0	0	--
不用額 --		23,775	0	0	--
諸謝金 --		12,076	0	0	--
旅費 --		801	0	0	--
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
F	大学・研究機関等	1,771,932	76	研究開発の実施	
支出先名		支出額	法人番号		
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター		253,413	6012705001563		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
研究の実施 --		253,413	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
学校法人順天堂		115,700	8010005002330		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由

	研究の実施 --	115,700	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
国立研究開発法人理化学研究所		114,400	1030005007111		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
研究の実施 --		114,400	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
国立大学法人東京大学		109,330	5010005007398		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
研究の実施 --		109,330	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
国立大学法人大阪大学		88,010	4120905002554		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
研究の実施 --		88,010	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
国立大学法人京都大学		84,240	3130005005532		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
研究の実施 --		84,240	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
国立大学法人東海国立大学機構		79,144	3180005006071		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
研究の実施 --		79,144	0	0	--

支出先名	支出額	法人番号			
株式会社国際電気通信基礎技術研究所	64,413	3130001036705			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
研究の実施 --	64,413	0	0	--	
支出先名	支出額	法人番号			
公立大学法人横浜市立大学	58,374	5020005005343			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
研究の実施 --	58,374	0	0	--	
支出先名	支出額	法人番号			
国立大学法人新潟大学	54,210	3110005001789			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
研究の実施 --	54,210	0	0	--	
支出先名	支出額	法人番号			
その他	750,698	--			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
研究の実施 --	750,698	0	0	--	

費目・用途 (単位：千円)	支出先名	契約概要（契約名）	費目	用途	金額
B	株式会社マックスパート	領域横断的かつ萌芽的脳研究プロジェクト 進捗報告会 運営支援業務	会議費	領域横断的かつ萌芽的脳研究プロジェクト 進捗報告会 運営支援業務	955
D	国立研究開発法人理化学研究所	研究の実施	物品費	実験機器等	2,088,395
--	--	--	人件費・謝金	研究者給与等	459,902
--	--	--	旅費	学会参加交通費等	21,351
--	--	--	その他	論文投稿料等	343,521
--	--	--	間接経費	間接経費	873,951
F	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	研究の実施	人件費・謝金	研究者人件費等	58,554
--	--	--	物品費	実験機器等	35,081
--	--	--	旅費	学会参加交通費等	2,263
--	--	--	その他	論文投稿料等	99,035
--	--	--	間接経費	間接経費	58,480

国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)	契約先名	契約額	法人番号
--	--	--	--

--